



～知っ得！読ん得？調べ得！～

染色・織物について調べる！

染色によって彩られた糸は華やかな装いを演出します。また、織物の世界をのぞいてみると、絹・毛・木綿など種類も様々で、織り方によっても違ったものとなります。所沢にも地域特有の織物があり、それを他の地域と比べるのも興味深いものです。

調べる前に知っとくと便利な情報！

☆情報を幅広く集めるには、キーワードが必要です。

・今回のキーワード・・・染色、染物、織物、染織、絹、真綿、紬、木綿、緋、縞

☆“請求記号”（本の背ラベルの番号）で効率よく資料を探すことができます。

・請求記号にKが付くものは郷土資料、Rが付くものは参考図書です。ともに所蔵している図書館内での閲覧になります。貸出ができる資料もございますので、カウンターにご相談ください。

・請求記号の二ケタ表記は児童書、三ケタ以上は一般書です。

・今回の請求記号・・・586.033（繊維-辞典）、586（繊維）、

587（染色加工）、753（染織工芸）

☆インターネット情報は各図書館のインターネット端末でご覧いただけます。契約データベース以外のプリントサービスはご利用できません。

① 事典類で調べる

所蔵館内でご覧ください。複写サービスがご利用できます。

(白黒 1 枚 10 円・カラー 1 枚 50 円 カラーコピーは本館のみ)

書名	著者・編集者	出版社	出版年	請求記号
繊維の百科事典	本宮達也/[ほか]編	丸善	2002	R586.033/セ
きもの地	織田秀雄/著	装道出版局	1977	R589.211/オ
図解染織技術事典	田中清香/共著 土肥悦子/共著	理工学社	1990	R753/タ
原色染織大辞典		淡交社	1977	R753.03/ケ
染織事典	中江克己/編	泰流社	1993	R753.033/ナ

※書名の後に、著者名、出版社、出版年、[請求記号]で表記してあります。

② 染色について調べる

『日本の染物』 北村哲郎/著 源流社 2000年 [753.8/キ/]

日本の染物の特徴について写真付きで解説している。

『天然染料の手引き』 北川一寿/著 染織と生活社 2022年 [H753.8/キ]

繊維の染色についての説明したのち、藍染をはじめ天然染料について解説する。柿渋や紫根、コーヒー、貝紫についても掲載。

『天然染料と衣服』 青木正明/著 日刊工業新聞社 2022年 [753.8/ア]

天然染料について、赤・藍・紅花・黒と緑などの色ごとに解説。現存物から染めの作業を再現しており、工程についてカラー写真で説明している。

『草木染日本の縞』 山崎青樹/著 美術出版社 2014年 [753/ヤ]

縞の歴史や、縞の種類について見本を用いて解説する。糸染めと手織り、染材となる植物についてもふれる。また各種媒染剤についても記述。

③ 織物について調べる

『真綿と紬』 嶋崎昭典/編著 日本真綿協会 2003年 [586.43/マ]

蚕と繭と真綿の解説に始まり、真綿のつくり方や「糸紬ぎ」についても解説あり。結城紬を中心にした紬織りの工程についても記述あり。

『わかりやすい絹の科学』 間和夫/監修 文化出版局 1990年 [586.47/リ]

絹の成分や構造、絹織物の作り方と特徴などについて解説。絹に関する時代年表あり。

『織物』 植村和代/著 法政大学出版局 2014年 [586.72/リ]

世界の古代の織物文化や織機、日本の古代の布や沖縄の花織の源流について解説。近世上方の平織物として、奈良晒や河内木綿についても記述あり。

『日本の伝統染織事典』 中江克己／著 東京堂出版 2013年 [753/ナ]
伝統染織の歴史や技法について解説。付録に略史・略年表の掲載あり。

『織を学ぶ』 京都造形芸術大学／編 角川書店 1999年 [H753.3/オ]
織機や繊維の解説に始まり、緋やきもの(小袖)の歴史にもふれる。「縞を織る」などの織り方の項目では、工程ごとに写真を用いて解説している。

『織りと染めの歴史 日本編』

河上繁樹／著 藤井健三／著 昭和堂 1999年 [753.2/オ]
日本の染織の歴史について、時代ごとに解説。近代の染織にもふれる。
巻末に東洋染織史略年表の掲載あり。

④各地の染物や織物を調べる

『<染織の都>京都の挑戦』 北野裕子／著 吉川弘文館 2025年 [586.421/キ]

『すぐわかる<産地別>染め・織りの見わけ方』

丸山伸彦・道明三保子／監修 東京美術 2012年 [753/ス]

『日本の伝統的織りもの、染めもの』

三宅和歌子／著 日東書院本社 2013年 [753/ミ]

『大島紬の源流を探る』 西之園君子／著 南方新社 2021年 [586.47/ニ]
奄美大島の歴史と大島紬の変遷について解説あり。製造工程の記述もある。

『結城紬』 坂入了／[ほか]執筆 中江克己／編 泰流社 1982年 [753.3/エ]
結城紬の歴史、工程や技法について解説している。

⑤郷土資料で調べる

・所沢市に関する資料

『所沢市史 民俗』 所沢市史編さん委員会／編 所沢市 1989年 [213.4/ト/]
所沢飛白のほか機織りの項目で、所沢の木綿や絹織物について解説あり。

『所沢市史調査資料 別集6』

所沢市史編さん室／編 所沢市史編さん室 1984年 [213.4/ト/別6]
「織物沿革誌」「所沢織物誌」を収録。飛白生産の沿革から原料や染料についても解説。生産の項目では賃織についても記述がある。

『所沢市史調査資料 別集11』

所沢市史編さん室／編 所沢市史編さん室 1989年 [213.4/ト/別11]
所沢が織物の産地として発展した経緯について解説されている。

『ところざわ歴史物語』(所沢市史ダイジェスト版)

所沢市教育委員会／編 所沢市教育委員会 2020年 [213.4/ト]
所沢織物の盛衰の項目で、産地の形成や組合の設立について解説している。所沢緋や生産技術者集団の湖月会についての記述もある。

『所沢飛白』 宮本八恵子／編 [宮本八恵子] 1986年 [586.77/ト]
所沢飛白のはじまりと製作工程を図やイラストを用いて解説。織物の変遷や機屋の生活にもふれる。

・ 所沢市周辺や埼玉県内に関する資料

『絹と木綿の布物語』 入間市博物館／編集 入間市博物館 1997年 [K586/キ]
「木綿の織物」の項目に、所沢飛白や湖月縮の写真あり。

『機屋の挑戦』 飯能市郷土館 2014年 [K586/ハ]
入間地方の織物と集散地の解説あり。所沢織物の産地としての飯能の木綿機屋の小槻工場を取りあげている。

『川越商都の木綿遺産』 川越織物市場の会／編 田村均／監修 川越織物市場の会 2012年 [586.221/カ]
川越織物市場や川越唐棧について記述がある。

『銘仙』

埼玉県立歴史と民俗の博物館／編 埼玉県立歴史と民俗の博物館 2021年 [K586/サ]
秩父銘仙についてカラー写真とともに解説。

⑥ データベースで調べる

所沢図書館内のインターネット端末でご覧いただけるデータベースです。

- ★朝日新聞社「朝日新聞クロスサーチ」(1879年～／本館・分館で利用可)
- ★読売新聞社「ヨミダス」(1874年～／本館・分館で利用可)
- ★日本経済新聞社「日経テレコン」(過去40年分の記事/本館のみ利用可)
- ★国立国会図書館デジタルコレクション (本館・分館で利用可)

⑦ インターネットで調べる

一般財団法人 民族衣装文化普及協会 「染と織」地域別辞典
地域別や五十音順の索引がある。産地や特徴等の解説と写真が見られる。

<https://www.kimono.or.jp/dictionary/index.html>

女子美術大学美術館収蔵品データベース 女子美染織コレクション

女子美術大学美術館が収蔵する染織に関する資料が検索・閲覧できる。

<https://jmapps.ne.jp/jam/>

文化遺産データベース (文化庁)

染織分野の文化遺産を検索できる。

<https://bunka.nii.ac.jp/db/>